

貫通二方向型出入口の活用法

株式会社エレベータ研究所

1. 車椅子対応かごの小型化

- 6人乗り用のかごでも車椅子対応にできる。

2. 車椅子利用者の利便性向上

- 背面扉側から乗車し正面扉側から降車することで、車椅子の方向転換や後退走行が不要になり、スムーズに乗降できる。

3. 乗降時間短縮

- Aシステムでは、基準階からその階へ移動する乗客の正面扉側からの降車とその階から基準階へ移動する乗客の背面扉側からの乗車が同時に混乱なく行えるので、乗降時間が短縮できる。
- Lシステムでは、運転方向と同一方向に移動する乗客の正面扉側からの降車とその階から同一方向に移動する乗客の背面扉側からの乗車が同時に行えるので、乗降時間が短縮できる。

4. 乗合制御

- Lシステム(L0, L6, L7)では、背面側の扉は、上昇方向の乗客の乗車時に開閉し、正面側の扉は、上昇方向の乗客の降車時と下降方向の乗客の乗車時に開閉するようにすることで、運転方向と逆方向の乗客の乗合を制御して、他セクタへの乗客と自セクタ内の逆方向へ移動する乗客の乗合による混乱を防止する。
- Lシステム(L0~L9)では、正面側の扉は、火災時にも開閉して一時避難場所内へ降車できるようにし、背面側の扉は火災時には閉鎖して、誤って乗車できないようにする。

5. 閉じ込め防止

- 扉の故障に起因する閉じ込めを防止できる。